

旭川下流域の古墳と寺院

－5～8世紀の上道郡を中心に－

岡山理科大学生物地球学部

亀田 修一

I. はじめに

*いわゆる上道氏の故地である旭川下流域の古墳と寺院について

- ・対象地域 旭川下流域：上道郡上道郷・幡多郷周辺
- ・対象時期：古墳時代中期～奈良時代 A.D. 4世紀末～8世紀

・対象資料：古墳、寺院

1. 旭川下流域の古墳

- (1) 前期：備前車塚・網浜茶臼山・神宮寺山古墳
- (2) 中期：金蔵山・湊茶臼山・一本松→両宮山古墳
- (3) 後期：牟佐大塚・操山古墳群・龍ノ口山周辺古墳群
- (4) 終末期：唐人塚古墳

2. 旭川下流域の寺院

・賞田廃寺・幡多廃寺・ハガ遺跡

II. 旭川下流域の古墳

(1) 前期 (250年頃～390年頃)

・備前車塚古墳・網浜茶臼山古墳ほか・神宮寺山古墳

(2) 中期 (390年頃～500年頃)

①旭川下流域

a. 金蔵山古墳：4世紀末～5世紀初

- ・前期末～中期初：河内津堂城山古墳とほぼ同時期
- ・165m、前方後円墳、4～5期、海が見える
- ・2基以上の埋葬主体、中央室に副室：合子
- ・碧玉製鍔形石、滑石製品(剣、刀子、鎌)・革綴短甲、筒形銅器、籠目土器、埴製合子
- ・多量の鉄器：鑄造鉄斧、刀、剣、矛、鏃、鎌、手鎌、鍬先、鑿、錐、鉋、鋸、刀子、ヤス、釣り針

b. 湊茶臼山古墳：4世紀末～5世紀初

- ・128m (151m)、前方後円墳、4～5期
- ・木棺直葬、粘土槨・・・主たる埋葬なし?→未完成の墓?
- ・陶質土器：炉形土器?
- ・埴輪編年(岡山市2013) 大阪府津堂城山古墳(4c末)より新しい、金蔵山古墳古相→神宮寺山

*一本松古墳

- ・半田山丘陵の西端、65m、前方後円墳、5世紀後半?
- ・竪穴式石室(豊島安山岩)：甲冑、槍、鍛冶具(鉄槌・鉄鉗)

・南西麓の津島遺跡のオンドル住居などに関わる?

②砂川流域

a. 両宮山(りょうぐうざん)古墳：5世紀中葉

- ・206m、前方後円墳、二重周濠
- ・和泉仁徳陵古墳(大山古墳)と相似形?
- ・周囲に森山古墳(84m、帆立貝形古墳、5世紀後半)、和田茶臼山古墳(55m、帆立貝形古墳、二重周濠、5世紀中葉～後半)などの陪塚

*旭川下流域にはこの時期の首長墳は不明

b. 両宮山古墳周辺の古墳

ア. 森山(もりやま)古墳：5世紀後半

・84m、帆立貝形古墳・墳形と類似した盾形周濠

イ. 朱千駄(しゅせんた)古墳：5世紀末～6世紀初

・65m、前方後円墳、竜山石製長持形石棺、蛇行状鉄器

ウ. 小山古墳：5世紀末～6世紀初

・53m、前方後円墳、阿蘇熔結凝灰岩製舟形石棺

エ. 廻り山古墳

・45m(65m?)、前方後円墳、埴輪・須恵器から5世紀末～6世紀前半、詳細不明

(3) 後期 (500年頃～593年)

a. 牟佐大塚(むさおおつか)古墳

- ・直径30m、円墳、6世紀末～7世紀初
- ・全長18mの横穴式石室、6m×2.8mの玄室：16.8㎡、花崗岩で構築

・貝殻石灰岩(浪形石)製家形石棺：岡山県井原市→吉備5例：吉備大首長の棺、備前ではここのみ

・この時期の備前最大の古墳

*古代山陽道沿い、旭川の渡河地点→渡し

b. 操山(みさおやま)古墳群

①操山古墳群

・操山丘陵に営まれた約100基の古墳群、金蔵山古墳含む

- ・ほとんどは横穴式石室が内部主体の後期・終末期古墳
- ・玄室面積が10㎡を越える郷トップクラスの墓が数基

②操山古墳群の主要古墳

ア. 沢田大塚(さわだおおつか)古墳(操山40号墳)

- ・直径16m、円墳、6世紀末～7世紀初
- ・全長11.4mの横穴式石室、5m×2.8m(14.0㎡)の玄室
- ・のちの幡多郷のトップクラスの墓

*操山39号墳: 沢田大塚古墳の近く

- ・直径13m、円墳
- ・全長8mの両袖式横穴式石室、4m×2.35～2.8m(10.3㎡)の玄室

イ. 操山51号墳

- ・沢田大塚古墳の東南東約400m
- ・直径25m、円墳、6世紀後半、全長13.4mの横穴式石室、6.15m×2.3m(14.1㎡)の玄室
- ・のちの幡多郷のトップクラスの墓

ウ. その他の横穴式石室墳

操山11号墳

- ・操山古墳群の西側、全長8.1mの両袖式横穴式石室、5.4m×2.2m(11.88㎡)の玄室

操山113号墳

- ・操山11号墳の近く、直径13m、全長7.25mの片袖式横穴式石室、4.75m×2.2m(10.45㎡)の玄室

c. 龍ノ口山(たつのくちやま)周辺古墳群

- *小型古墳が群集、約70基

ア. 龍ノ口山頂古墳群

- ・40基の小円墳群、おおそ直径10m以下、横穴式石室

イ. 湯迫(ゆば)古墳群

- ・龍ノ口山南麓、8基の小円墳群、おおそ直径10m以下、横穴式石室

ウ. 龍ノ口山東谷部

- ・四御神奥池奥古墳群(7基)、四御神奥池下古墳群(6基)、四御神谷口古墳群(7基)

エ. グリーンシャワー公園古墳群(仮称)

- ・龍ノ口山の西麓、7基、小円墳群

オ. 矢津古墳群

- ・龍ノ口山周辺古墳群のひとつ山東、11基、直径約10mの小円墳群

- ・牟佐から南に越えるルートの西側

カ. 塩見塚古墳群

- ・矢津古墳群の北側、4基

1号墳

- ・陶棺、直径12m、全長8.4m片袖式横穴式石室

(4) 終末期(593～710年)

a. 唐人塚(かろうどづか)古墳

- ・賞田廃寺の西側小丘陵を挟んで約100m
- ・直径25m、円墳? 7世紀中葉? 全長約9mの両袖式横穴式石室: 岩屋山型石室
- ・5.2m×2.1～2.9m(13㎡)の玄室、2.25×1.2mの竜山石製家形石棺
- ・上道氏のトップの墓、賞田廃寺の創建造営者の墓?

III. 旭川下流域の古代寺院

a. 賞田廃寺

- ・岡山市賞田: 上道郷、吉備最古段階の寺院の一つ・上道氏の氏寺?

- ・7世紀中葉創建: 一堂のみの寺院? 7世紀後半以降: 現金堂創建 8世紀前半～後半: 東西塔創建
- ・白色凝灰岩(讃岐火山石)製壇上積基壇、特異な二塔式伽藍配置

- ・上道朝臣斐太都(757年、従四位下中衛少将)

- ・すぐ西側に唐人塚古墳(7世紀中葉)

b. 幡多廃寺

- ・岡山市赤田: 幡多郷
- ・7世紀後半創建、8世紀前半～後半に整備、特異な伽藍配置: 東向き? 秦氏の氏寺?

- ・すぐ東側に赤田東(あこだひがし)遺跡

- 6世紀中頃～7世紀中頃に栄えた集落、鉄・鉄器生産、馬埋納土坑→手工業生産?

- 7世紀前半に竪穴住居から掘立柱建物へ、渡来系の人々がいた?

c. ハガ遺跡

- ・備前国府関連寺院: 方1町の外郭と東西幅1/3町の内郭、方位は真北

- ・遺物は7世紀末～12世紀?: 瓦、奈良三彩陶器多口瓶、羊形硯、蹄形硯、瓦塔、泥塔、多量の灯明皿

- *備前国府推定地に近接

国府関連仏教施設

IV. 文字史料にみる上道郡周辺

1. 和名抄に見られる郷推定

- 宇治(うじ)郷、可知(かち)郷、幡多(はた)郷、上道(かみつみち)郷、財田(たからだ)郷、居都(こづ)郷、日下(くさかべ)郷、那紀(なき)郷、豆田(まめだ)郷

・上道郷：祇園、中原、今在家、脇田、湯迫、四御神、賞田、国府市場、雄町、中井

：賞田麿寺、大神（おおみわ）神社（上道郡唯一の式内社）

・幡多郷：清水、赤田、高屋、沢田、関、山崎、円山：幡多麿寺

・宇治郷：門田、国富、原尾島

・可知郷：可知、目黒、大多羅、浅越、西庄、吉原

・財田郷：土田、長岡

・居都郷：古都宿、宍甘、藤井

・日下郷：草ヶ部（大廻小廻山城）、平島

・那紀郷：吉井、一日市、西祖

・豆田郷：西大寺、広谷

*木簡に見える郷

・長野里（藤原宮木簡）：不明

・掲勢里（平城宮木簡）：不明

「秦^口犬養、秦^口得万呂 二人庸米」

・安度郷（平城宮木簡）：不明

藤野郡：天平神護2（766）年、邑久郡香登【かがと】郷、赤坂郡珂磨・佐伯2郷、上道郡物理【もとろい】・肩背・沙石3郷を加える

上道郡物理・肩背・沙石3郷：瀬戸町

2. 備前の渡来人

- 藤野郡：忍海部興志（769年）
- 邑久郡旧井郷：秦勝小国（8世紀）
- 邑久郡積梨郷：秦造国足・秦部国人（774年）
- 邑久郡：秦大兄→香登臣（698年）
- 上道郡：秦部犬養、秦部得万呂（8世紀）
- 上道郡幡多郷：秦老人、秦忍山（8世紀）
- 上道郡幡多郷：秦人部得足（8世紀）
- 上道郡沙石郷：秦勝千足（8世紀）
- 上道郡：秦春貞（885年）
- 上？：秦大丸（8世紀）
- 児島郡賀茂郷：三家連乙公（8世紀）
- 津高郡津高郷：漢部阿古麻呂、書直麻呂、漢部古比麻呂、
■ 按作部千継、漢部真長、漢部大楯
- ？：韓部広公（直講博士正六位上）→百濟国人・上道郡に秦氏関連の人々、幡多郷に秦氏関連の人々。上道氏も渡来人の力を使って発展？渡来人は宗教・寺院にも関わった？

→旭川下流域にいろいろな技術を備えた渡来人たちがいた？→寺院も造営？

V. おわりに

3～5世紀初め頃は備前を代表する前方後円墳（前方後方墳）が見られる。特に、4世紀後半～5世紀初め頃は150m前後のものがある。しかし5世紀前半～中葉以降には、西岸の一本松古墳などはあるが、東岸には首長墳はわからなくなる。

→造山古墳（5世紀初）、作山古墳（5世紀前半）→両宮山古墳（5世紀中葉）

5世紀中葉頃、赤磐市に200mを越える両宮山古墳が出現。ただこの地域も6世紀代の首長墳は、やや奥の鳥取上高塚古墳くらい

鳥取上高塚古墳

墳長67～75m、前方後円墳、石室全長15m、備中こうもり塚古墳と同時期？赤坂郡の地域首長か？

・牟佐大塚古墳へ

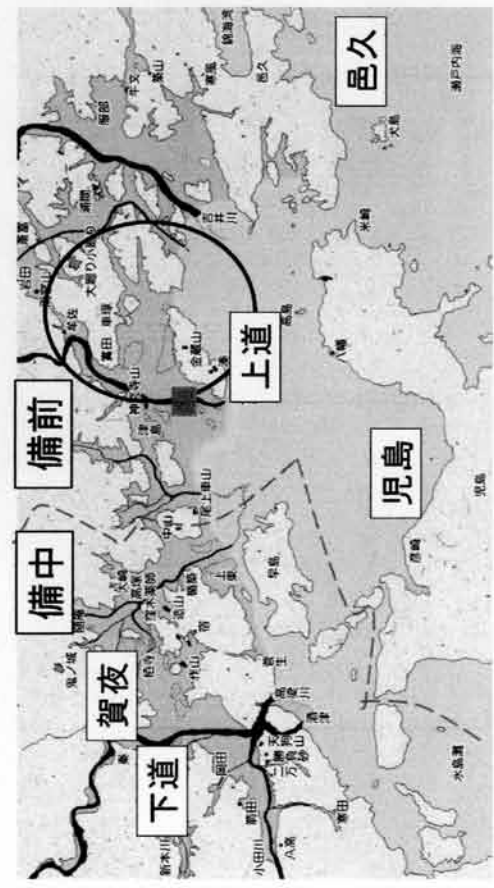
牟佐大塚古墳はのちの古代山陽道と旭川が交差する地点にある。川の渡しも押さえた？6世紀末～7世紀初で、直径30mの円墳、石室全長18（～19）m→首長墳、次の唐人塚古墳へつながる。7世紀中葉の唐人塚古墳で、旭川下流域東岸平野に戻ってきた？

このころ賞田麿寺も造営開始、両者は上道氏のトップの墓と氏寺。幡多麿寺は秦氏の寺？操山の後期古墳群、沢田大塚古墳などの位置づけは難しい。上道郷・幡多郷の人々が葬られた？おもに幡多郷（幡多麿寺・赤田東遺跡）？そうであるならば、幡多郷ののちの郷長クラスの人々が沢田大塚古墳などに葬られた？操山51号墳が6世紀後半であれば、赤田東遺跡の拡大と関係？

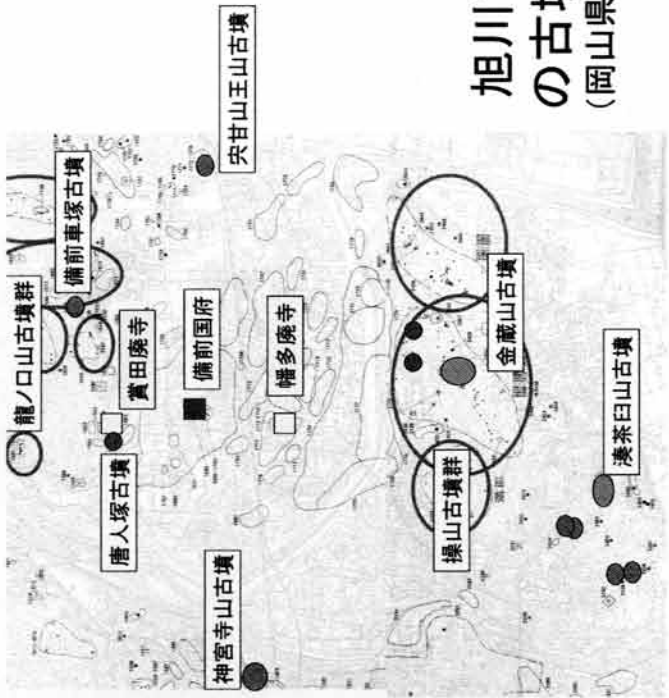
7世紀末～8世紀前半：備前国府成立→上道氏・秦氏の関与→国府周辺にハガ遺跡：国府関連寺院？

*上道氏の古墳と寺院、そして国府造営

*秦氏(?)などの古墳と寺院 国府造営・維持管理(港なども)：技術者・官僚



古代の吉備(海が入り込む)
 (総社市2010「シンポジウム『古代吉備の風景』」)



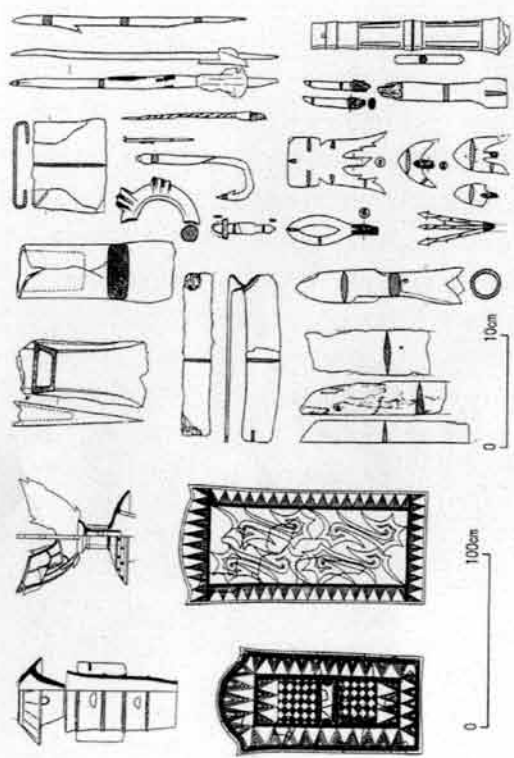
旭川下流域
 の古墳・寺院
 (岡山県教委2003)



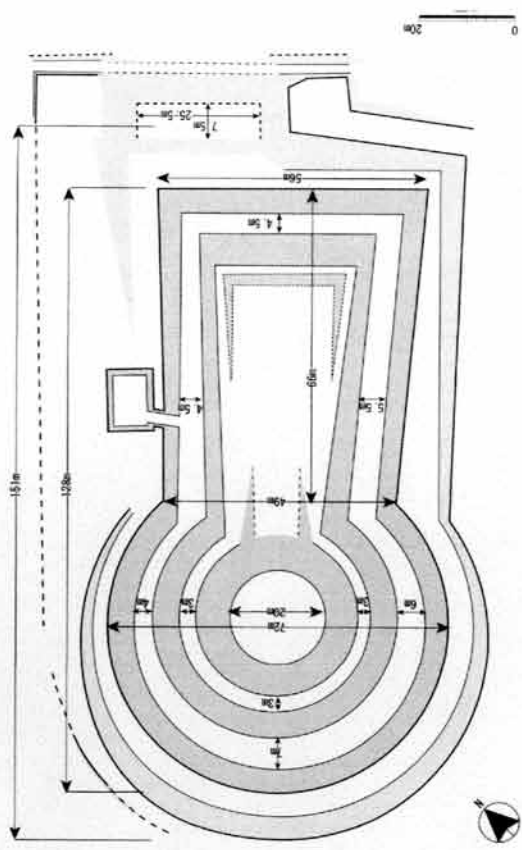
第11図 網浜茶臼山古墳と周辺の遺跡 (1/25,000)
 1 網浜茶臼山古墳 2 操山109号墳 3 湊茶臼山古墳 4 操山103号墳 5 操山106号墳 6 金蔵山古墳
 7 瀬田神社表山古墳 8 瀬田神社古墳 9 岩田大塚古墳 10 天瀬遺跡

金蔵山古墳(岡山市2008)

金蔵山古墳と湊茶臼山古墳(岡山市2007)

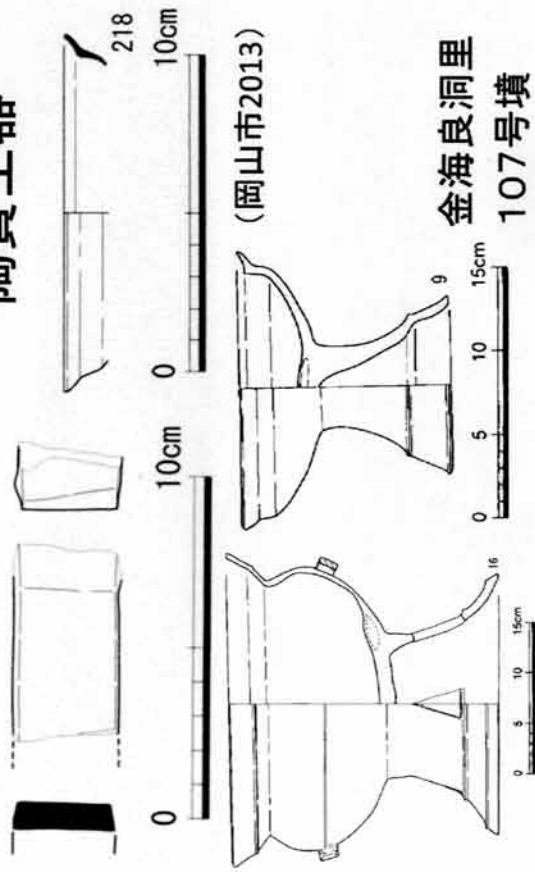


金蔵山古墳の埴輪・中央石室副室遺物
(乗岡・行田2000)

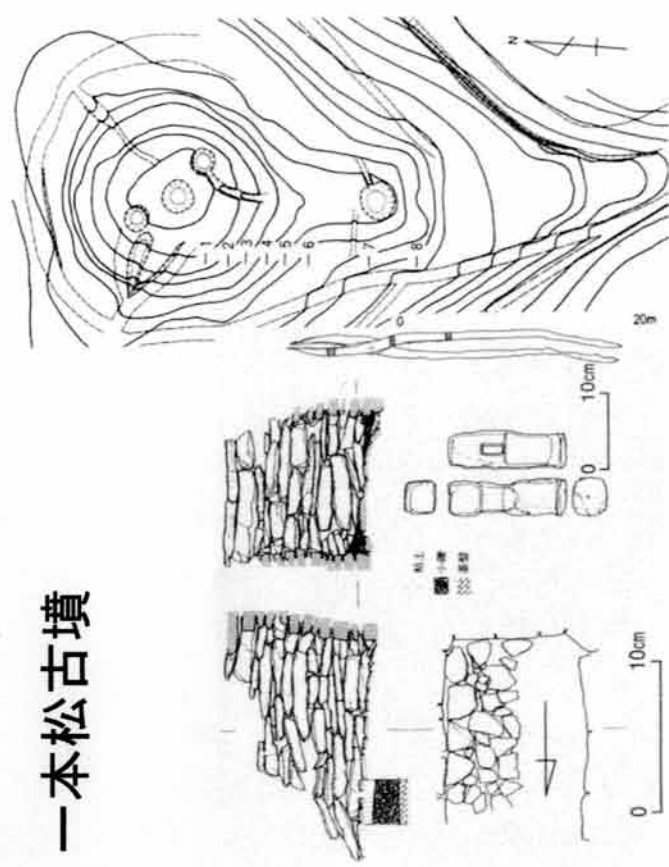


湊茶臼山古墳(岡山市2013)

湊茶臼山古墳
陶質土器

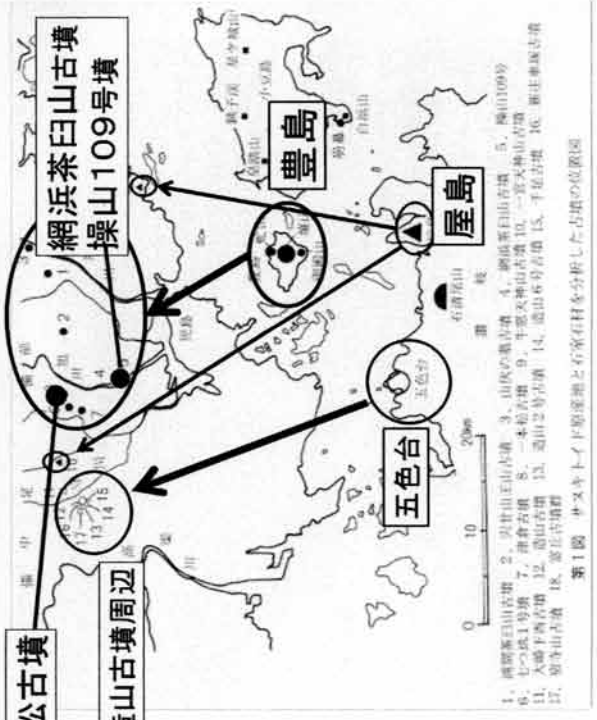


金海良洞里
107号墳



一本松古墳

吉備の古墳使用板状石材(安山岩)の産地



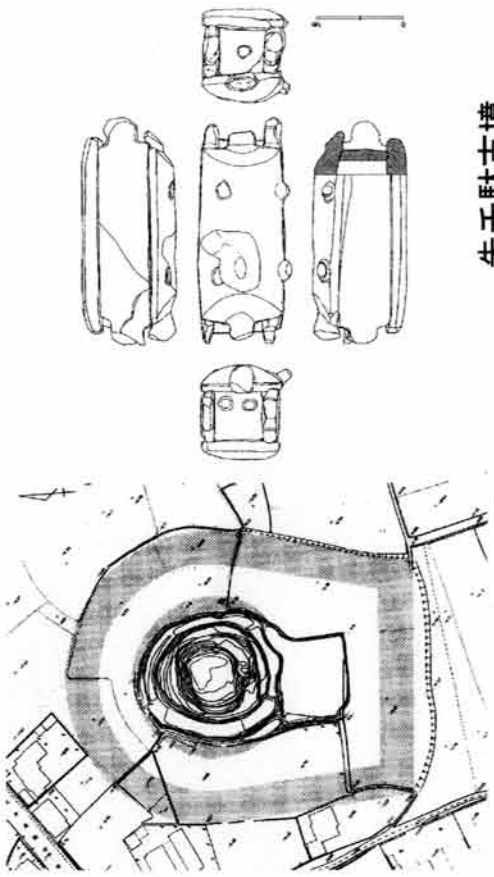
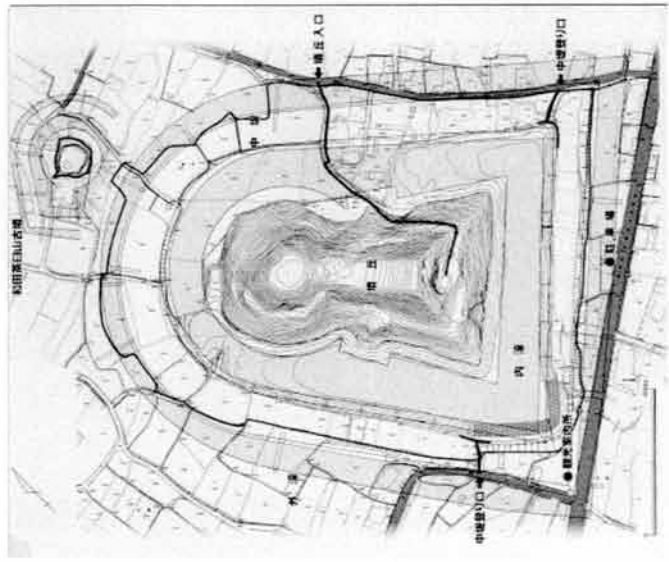
白石1991

現在の岡山市南部は海



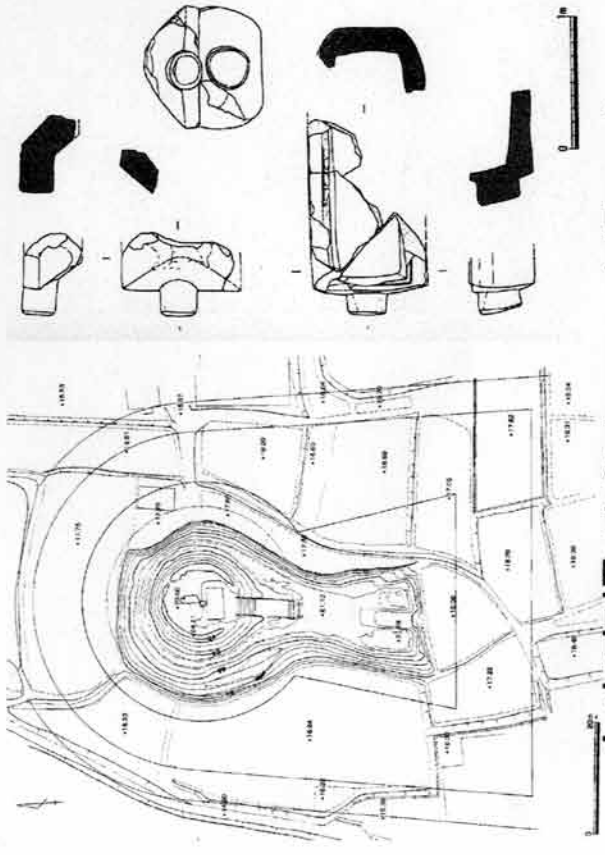
古代の備前南部地域(総社市2010)

両宮山古墳墳 丘復元図(206 m、5世紀中葉) (赤磐市2011)



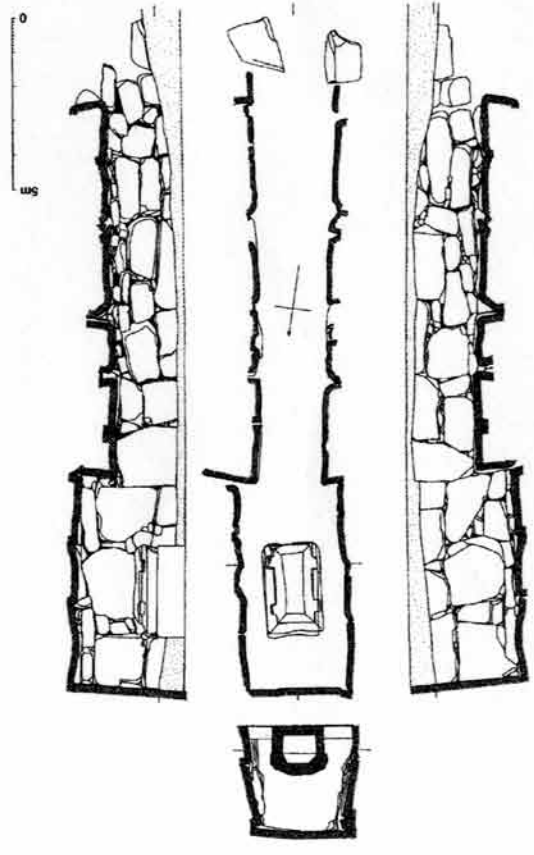
朱千駄古墳
龍山石石棺
(宇垣2006)

森山古墳
(赤磐市2011、宇垣2006)

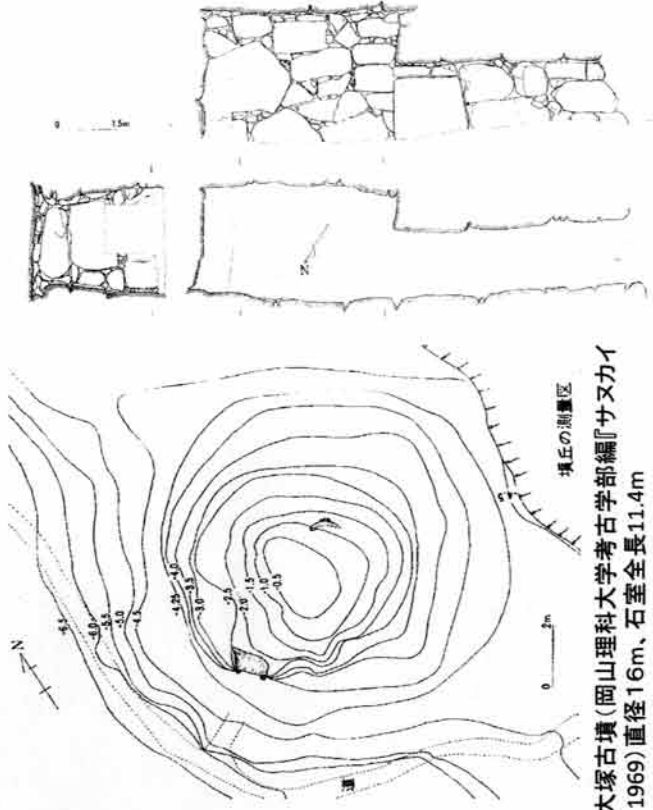
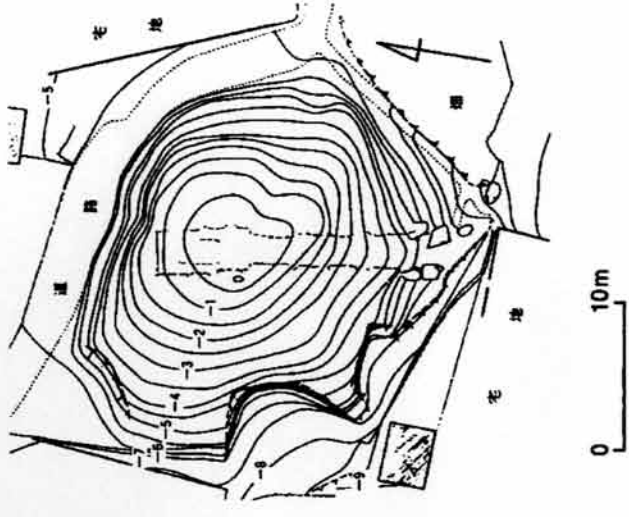


小山古墳(赤磐市2008・宇垣2006)

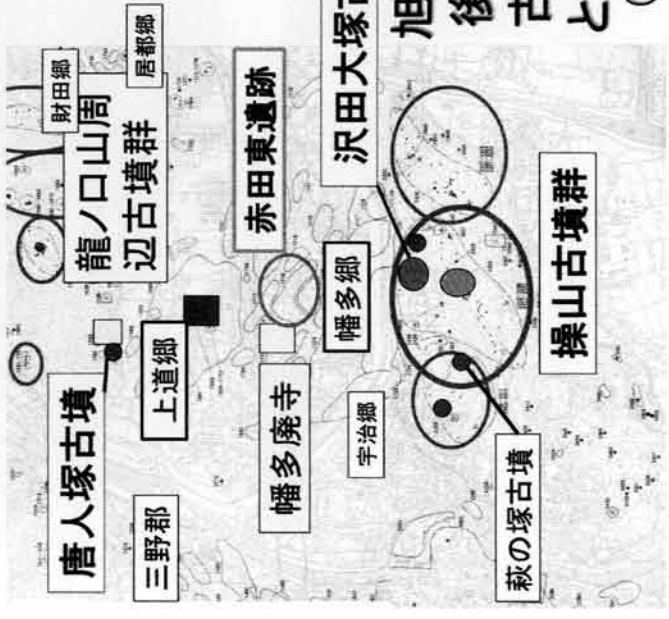
牟佐大塚古墳(亀山・尾上2008)



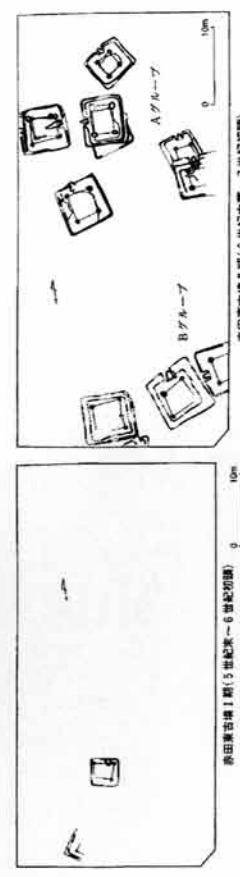
牟佐大塚古墳
(乗岡・行田2000)



沢田大塚古墳(岡山理科大学考古学部編『サヌカイ
ト』2, 1969)直径16m、石室全長11.4m



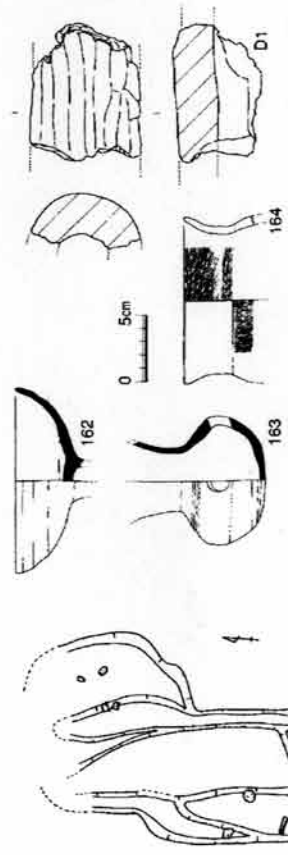
旭川下流域の
後期・終末期
古墳・古墳群
と赤田東遺跡
(岡山市2003)



左上:5世紀末～6世紀初
右上:6世紀中葉～7世紀
初
右下:7世紀初～中葉

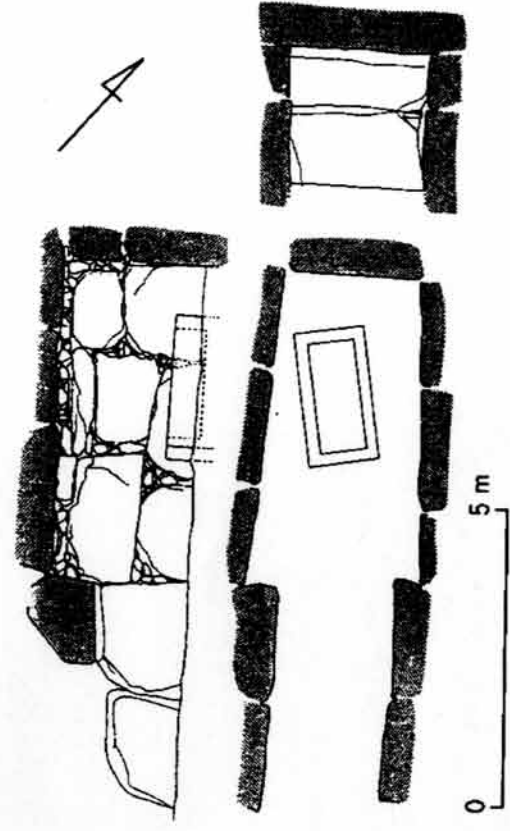


5～7世紀の赤田東遺跡(岡山市2005)



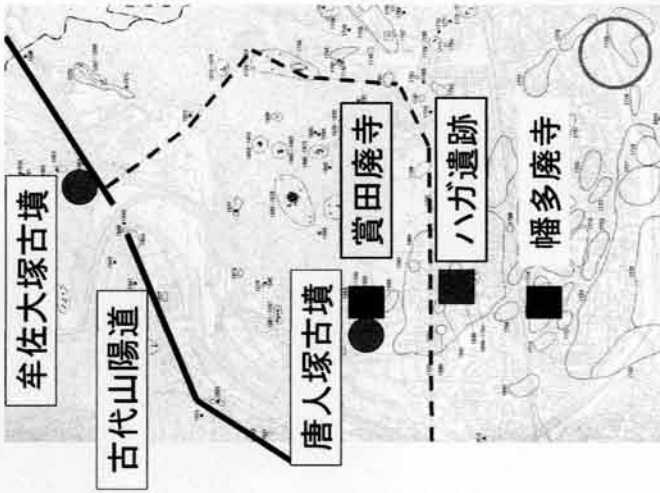
馬と鉄

馬骨が出土した赤田東
遺跡P1209(6世紀後半
～7世紀前半)(岡山市2005)

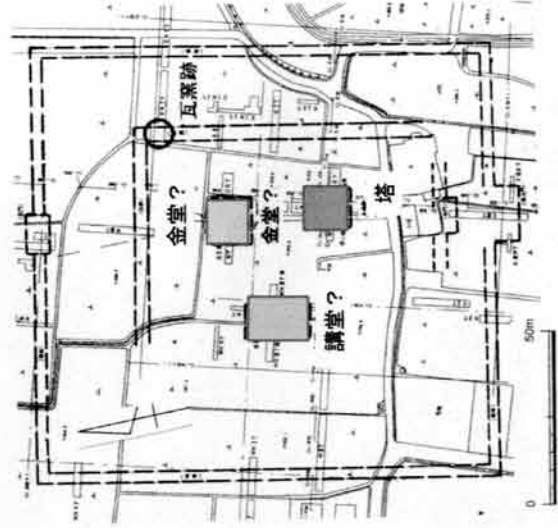
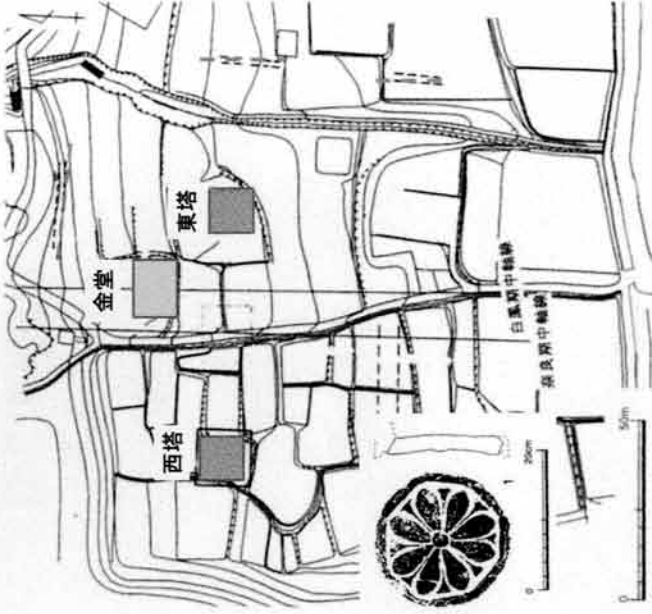


唐人塚古墳(乗岡・行田2000)

旭川下流域 の古代寺院

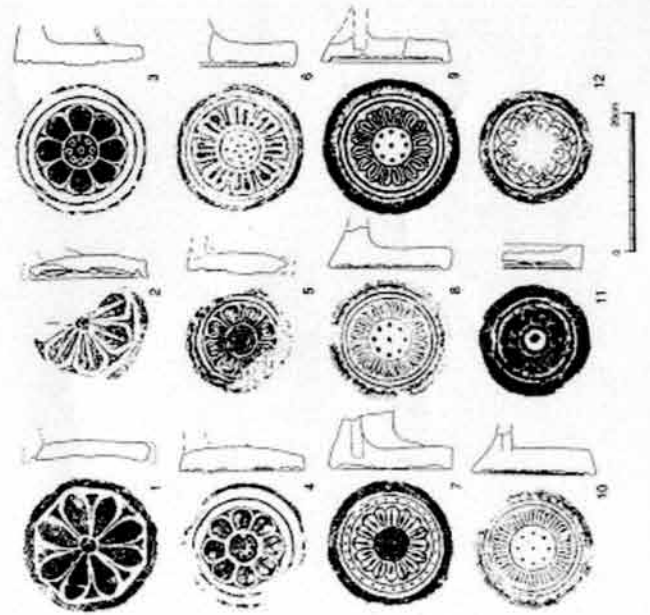


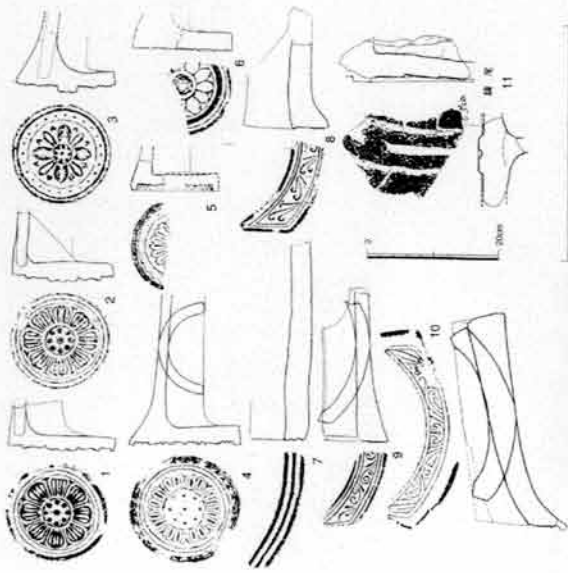
- * 7世紀中葉頃は一堂のみの寺院?
- ・7世紀後半以降に整備
- ・7世紀後半金堂創建
- 8世紀前半～後半:東西塔創建
- 賞田廃寺の伽藍(湊・亀田 2006)



幡多廃寺伽藍配置(湊・亀田2006)

備前賞田
廃寺の軒
丸瓦(岡山
市2005b、
湊・亀田
2006)

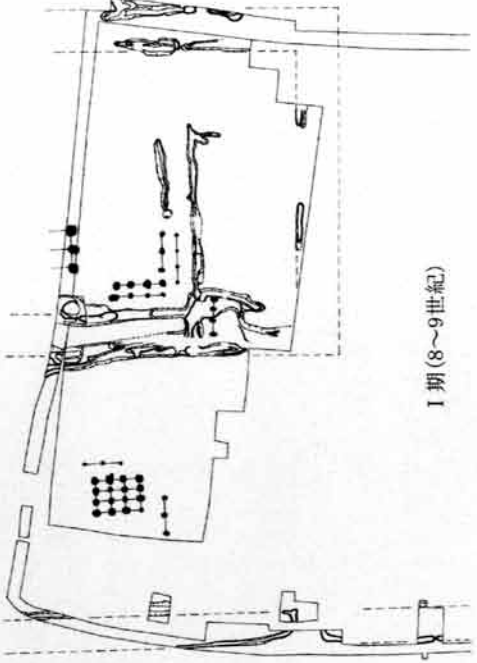




幡多廃寺の瓦 (岡山市1975、湊・亀田2006)

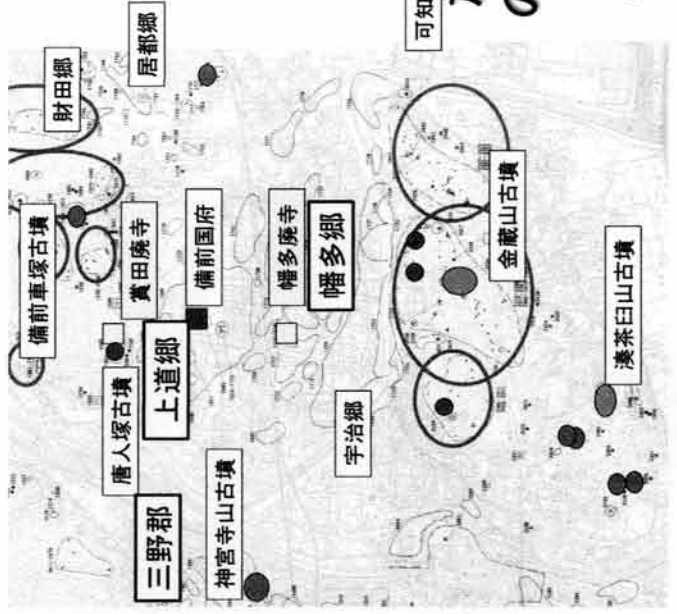


平城京跡(上)と
ハガ遺跡(右)
羊形硯
(岡山市2004)



1期 (8~9世紀)

ハガ遺跡8~9世紀遺構配置図
(岡山市2004)



旭川下流域
の古墳・寺院
と郷
(岡山県2003)